# JR東日本ニュース



2019年3月22日東日本旅客鉄道株式会社

### 新幹線の試験車両 ALFA-X まもなくデビュー

- JR 東日本では、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「次世代新幹線開発」を、「さらなる安全性・安定性の追求」、「快適性の向上」、「環境性能の向上」、「メンテナンスの革新」の4つのコンセプトで進めています。
- 次世代新幹線の開発を進めるための試験プラットフォームとして、新幹線の試験車両(E956 形式、愛称名 ALFA-X)の製作を進めてきましたが、本年 5 月に落成し、東北新幹線 仙台 ~新青森間で走行試験を開始します。

#### 1. 試験車両の特徴

(1)試験車両

E 956 形式新幹線電車 10 両編成

(2)試験車両の愛称名

愛称名:ALFA-X(アルファエックス)

 ${}^{
m flack}{}_{
m A}$ dvanced  ${}_{
m f L}$ abs for  ${}_{
m f F}$ rontline  ${}_{
m f A}$ ctivity in rail e ${}_{
m f X}$ perimentation ${}_{
m f J}$ 

"最先端の実験を行うための先進的な試験室(車)"

詳細な特徴は別紙をご覧ください。

#### 2. 高速走行試験の概要

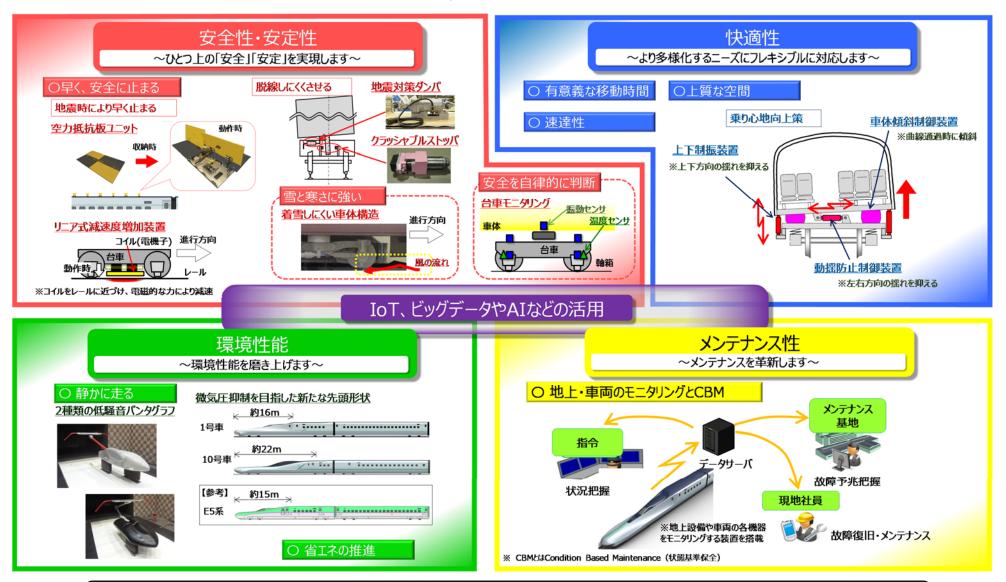
(1) 走行試験の目的

次世代の新幹線における環境性能の向上のほか、これまですすめてきた地震対策を含む安全性向上等の開発の検証を行うため、試験車両を使用した長期的な走行試験を実施します。

#### (2) 走行試験の概要

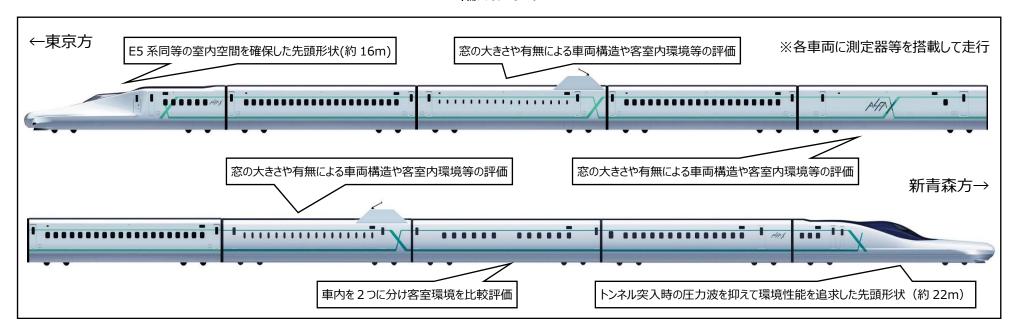
2019 年 5 月から 2022 年 3 月にかけて、東北新幹線 仙台〜新青森間を中心に走行試験を行います。走行試験は、営業列車の走行しない夜間の走行を基本に、週 2 回程度実施します。走行速度は、車両性能試験のため数回程度、最高速度 400km/h の走行を行うほか、最高速度 360km/h までの走行を行う予定です。

## 開発コンセプト



このほか、将来の自動運転を目指すうえで、出発から高速走行および停車に必要な加速・惰行・減速といった列車運転に欠かせない機能のスムーズな車両の制御を実現するため、基礎的な研究開発を行います。

## 編成デザイン



## 先頭車デザイン

